

船舶事故等調査報告書

平成24年1月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|-------------|---|---|
| 事故等番号 | 2011門第70号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成23年4月19日 16時00分ごろ | |
| 発生場所 | 福岡県苅田町苅田港 苅田港北防波堤灯台から真方位259° 2,200m付近 (概位 北緯33° 47.8' 東経130° 59.3') | |
| 事故等調査の経過 | 平成23年5月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | | |
| 船種船名、総トン数 | 貨物船 第一正運丸 ^{しやううん} 、499トン | |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 133882、正運海運有限会社 | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、四級海技士（航海） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | 船底外板に擦過傷、プロペラ翼先に曲損 | |
| 事故等の経過 | <p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、水砕スラグ約1,546tをほぼ満載し、船首約3.5m、船尾約4.7mの喫水で苅田港専用岸壁付近において、出船左舷着けの態勢とするために右旋回中、平成23年4月19日16時00分ごろ同岸壁付近の浅所に乗り揚げた。</p> <p>船長は、予定入港時刻が低潮時であり、水深に余裕がないことを知っていた。</p> <p>その後、本船は、自力で航行を続けた。</p> | |
| 気象・海象 | <p>気象：天気 曇り、風向 北西、風力 3</p> <p>海象：潮汐 低潮、潮高 約-19cm</p> | |
| その他の事項 | <p>船長は、空倉での出港時に風の影響を受けると回頭が困難になることから、出船の態勢で着岸していた。</p> <p>海図水深は、4.9～5.2mである。</p> | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | <p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、苅田港の専用岸壁に接近中、船長が低潮時に専用岸壁付近で旋回した際、余裕水深がなかったことから、船尾が専用岸壁付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p> |
| 原因 | <p>本事故は、本船が、苅田港の専用岸壁に接近中、船長が低潮時に専用岸壁付近で旋回した際、余裕水深がなかったため、船尾が専用岸壁付近の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p> | |